

令和4年度研修歯科医 募集要項

1. プログラムの名称

- (1) 福岡歯科大学医科歯科総合病院歯科医師臨床研修プログラムⅠ
- (2) 福岡歯科大学医科歯科総合病院歯科医師臨床研修プログラムⅡ

2. 歯科医師臨床研修の目的と特徴

本院における歯科医師臨床研修は、基本的・総合的な診療能力を有し、口腔と全身との関係を深く理解し、高いコミュニケーション能力と豊かな人間性を備えた、患者から信頼される歯科医師を育成することを目的とする。

福岡歯科大学医科歯科総合病院（管理型研修施設）は医科診療科が設置され、医科・歯科の連携や多職種チーム医療を学ぶのに適した環境である。

臨床研修プログラムⅠでは、九州を中心に中国・四国・関西・東京圏にも協力型臨床研修施設があり、地域医療の現場で5か月間の研修ができる。臨床研修プログラムⅡでは、本院（管理型施設）での11か月の研修のうち、歯科専門科のうちのひとつを選択し、3週間の本学口腔医療センター（協力型（Ⅱ）研修施設）研修と合わせて専門的知識や高度先進医療に触れる研修の機会が多い。また、福岡糸島医療圏の基幹病院である九州大学病院（協力型（Ⅱ）研修施設）において、がん患者等に対する高度な周術期口腔機能管理などにおける多職種連携を研修できる特徴もある。

- ### 3. 募集人員
- (1) 臨床研修プログラムⅠ 95名
 - (2) 臨床研修プログラムⅡ 20名

- ### 4. 研修期間
- 令和4年4月1日～令和5年3月31日

- ### 5. 出願資格
- 第115回歯科医師国家試験を受験予定で、マッチングに参加する者

6. 出願手続き

- (1) 研修歯科医登録願書
 - (2) 卒業(見込)証明書 [卒業(見込)大学様式]
 - (3) 成績証明書 [卒業(見込)大学様式]
 - (4) CBT 本試験成績証明書(写し) (平成18年度 CBT 試験開始以前の者については不要)
 - (5) OSCE 本試験成績証明書(写し)
 - (6) 履歴書
 - (7) 小論文
 - (8) 返信用ハガキ (表面に住所、氏名を記載すること)
- 以上の書類を簡易書留で下記提出先あて郵送（窓口可）
※(2)(3)の各書類については、福岡歯科大学卒業・卒業見込の者は必要としない。

- ### 7. 出願期間
- 令和3年7月5日（月）～8月10日（火）（必着）

8. 提出・問い合わせ先

〒814-0193 福岡市早良区田村 2-15-1 福岡歯科大学医科歯科総合病院 歯科医師臨床研修室
TEL 092-801-0411(代) / FAX 092-801-0459
E-mail rinken@college.fdcnet.ac.jp <http://www.fdcnet.ac.jp/hos/>

9. 試験方法、提出期間

試験方法：小論文および書類審査（CBT および OSCE の個人成績表）

小論文作成要領：テーマ別紙『A I を活用しつつ、人間らしく働き、生活するにはどうしたらいいのか。』

原稿用紙に 800 字以内手書きで記述

原稿用紙はダウンロードし作成すること

10. 採用方法

マッチングシステムによる

下記の文章を読み、下線部について自身の考えを 800 字以内で記述せよ。

人工知能（A I）のセミナーやシンポジウムが花盛りだ。

技術は時として、予想をはるかに上回る速度で進む。A I もそんな段階に入ったのか。人間は A I にどう向き合うべきか。そして、これからの時代に備えた人づくりとは――。

本格的に考えなければならない時期に来ている。

いまの社会的ブームの大きなきっかけは、2年前に囲碁A I「アルファ碁」が世界最強とされた棋士を破ったことだった。

データ処理能力の飛躍的進歩が生んだA Iは、生活を豊かに変える可能性を秘める。

静岡大学の竹林洋一特任教授らは、高齢者介護の質の向上に活用しようとしている。

お年寄りへの声のかけ方ひとつをとっても、介護する者の姿勢や位置、音の調子、高低、タッチの有無など、多くの要素から成る。実際の画像をもとにそれらを解析すれば、お年寄りを笑顔にするアプローチを定式化できる。優れた介護者の育成に役立つだけでなく、認知症に関する知見の深化や理解につながることを期待される。

一方、A I 時代に対する不安の中で、最も現実味をもって語られるのが雇用への影響だ。

A I 搭載のロボットは複雑な生産現場にも進出するだろう。大量で多様なデータを公正・迅速に評価することが求められる市場調査、融資の判断、さらには人事業務にも導入が進む。十数年後にはホワイトカラーの仕事の半分がA I に置きかえられるという見方もある。

A I を活用しつつ、人間らしく働き、生活するにはどうしたらいいのか。

人間は計算力や記憶力でコンピューターに及ばない。それでも困らないのは、道具として使いこなせているからだ。A I についても本質は変わらない。大切なのは、A I をどう制御し、人間の幸せのために役立てるかを考え、その方向に社会を構築していくことだ。

朝日新聞 DIGITAL （社説）AI 時代の人間 豊かな活用に道開くため より抜粋